



NHK 詳細分析

2026-05-04_radio_news_0700

放送: 2026-05-04 | 分析日: 2026-05-13 14:28

Version 2.8-detail | Universal 2.8-detail | Konverter 3.4 (2026-05-20) | 基準: 放送法 第4条

総合スコア

3.1/10

軽微な不均衡

0 = 均衡、10 = 著しく偏向/操作的

政治スペクトラム

チャペルヒル専門家調査 (CHES) 2024に基づく分類

チャペルヒル専門家調査 (CHES 2024) は、31か国609人の政治学者による 学術調査です。各政党は0 (極左) から 10 (極右) のスケールで評価されます。

政党	JCP	CDP	DPP	Komeito	LDP	JIP
CHES	1.50	3.50	4.80	5.20	7.00	7.80
スペクトラム	左派	左派	中道	中道	右派	右派

全体的な傾向は0-10スケールで表示されます (0 = 強い左派優遇、5 = バランス、10 = 強い右派優遇)。計算は左派・右派政党の平均優遇度の差に基づきます (CHES 2024によるグループ分け)。

傾向 (左 - 右)

5.0 / 10

均衡

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

← 左

右 →

出典: Chapel Hill Expert Survey 2024 — chesdata.eu | [Jolly et al., Electoral Studies, 2022](https://doi.org/10.1017/XPS.2022.1) | 関値: [Pew Research Center](https://www.pewresearch.org/)

このセクションは政治的文脈を提供し、総合スコアには含まれません。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



政治的景観

現政権：自由民主党（LDP）＋公明党（Komeito）連立政権。2024年10月27日の衆院選でLDPは191議席（大幅減）、公明党は24議席を獲得。過半数割れにより政権基盤は不安定化。現首相：高市早苗（本トランスクリプト内で「高市総理大臣」として言及）。

主要野党：立憲民主党（CDP、148議席）が最大野党。日本維新の会（38議席）、国民民主党（28議席）、れいわ新選組（9議席）、日本共産党（8議席）が続く。

政党	L-Rスコア	議席数	政府／野党	核心的立場
日本共産党（JCP）	1.5	8	野党	憲法9条堅持、即時原発ゼロ、反軍拡
社民党（SDP）	2.5	1	野党	平和主義、脱原発、ジェンダー平等
れいわ新選組	2.5	9	野党	消費税廃止、MMT、反軍拡
立憲民主党（CDP）	3.5	148	野党	9条改憲反対、再生可能エネルギー、夫婦別姓
公明党	5.0	24	与党	平和志向、社会福祉、連立内でLDP抑制
国民民主党（DPP）	5.5	28	中間	消費税5%、実用的エネルギー政策
自由民主党（LDP）	7.0	191	与党	憲法改正、防衛費2%、原発再稼働

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

日本維新の会 (Ishin)	7.0	38	野党	規制緩和、地方分権、改革路線
参政党	9.0	3	野党	超国家主義、右翼ポピュリズム

Pewしきい値：4.5未満=左派、4.5~5.5=中道、5.5超=右派

日本の政治的対立軸は主に四つある。第一に憲法改正（特に9条）をめぐる与野党の根本的対立。第二に防衛費増額（GDP比2%目標）と専守防衛原則の堅持をめぐる論争。第三に原子力エネルギー政策（再稼働推進vs脱原発）。第四に経済的格差是正と成長戦略の優先順位をめぐる対立。2024年衆院選でのLDP大敗後、政権の安定性と政策遂行能力が問われている。

NHKは放送法に基づく公共放送機関であり、経営委員会の12名は首相が任命する（国会同意が必要）。安倍政権期（2012~2020年）以降、「安倍のNHK」との批判が継続しており、記者クラブ制度が政府との構造的近接性を生んでいる。RSF報道自由度ランキングでは日本は70位（2024年）にとどまり、放送法第4条が定める政治的公平・多角的論点提示の義務が問われ続けている。

- ・タイトル：NHKニュース（早朝ニュース速報・定時放送）
- ・日付（ファイル名より推定）：2025年6月3日（火）早朝
- ・推定尺：約14分30秒（トランスクリプト全体）
- ・司会者／リポーター：アナウンサー（名前不明、トランスクリプト内で特定不可）
- ・インタビュー対象者：なし（スタジオ読み上げ形式のみ）

人物	役職	政党／所属	政治的スペクトル
高市早苗（言及のみ）	内閣総理大臣	LDP	右派（LDP内強硬保守派）
茂木敏充（言及のみ）	外務大臣	LDP	右派
片山さつき（言及のみ）	財務大臣	LDP	右派
アルバニージー（言及のみ）	オーストラリア首相	豪労働党	中道左派
トランプ（言及のみ）	米国大統領	共和党	右派ポピュリスト
バガイ報道官（言及のみ）	イラン外務省報道官	イラン政府	該当なし

本放送は、気象・交通情報、イラン情勢（米イラン交渉）、高市首相のオーストラリア訪問、日中韓ASEAN財務相・中央銀行総裁会議、茂木外相のアフリカ訪問、スポーツニュースを扱う早朝定時ニュース速報である。

本放送が扱う国際ニュースは、米イラン緊張緩和交渉、日本の「自由で開かれたインド太平洋（FOIP）」外交戦略の推進、中東情勢に起因するエネルギー・経済リスクという三つの文脈に位置づけられる。日本政府（LDP政権）の外交・安全保障政策が肯定的文脈で報道されており、野党の視点や批判的評価は一切含まれていない。イラン情勢については米国側の軍事的選択肢への言及が含まれるが、その評価は中立的に提示されている。

世界知識に基づき、本放送テーマに関して均衡ある報道に必要な視点を列挙する：

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

- * イラン側の交渉提案の詳細内容と国際法的評価
- * 米国の軍事的選択肢に対する国際社会（国連・EU等）の反応
- * 日本のFOIP戦略に対する野党（CDP・JCP等）の批判的立場
- * 日豪経済安全保障協力に対する中国側の反応・懸念
- * 中東情勢が日本経済・エネルギー政策に与える具体的影響の分析
- * 円安・市場介入に対する日銀・市場専門家の独立的評価
- * アフリカ開発政策（TICAD）に対するアフリカ側の評価・批判
- * 「プロジェクト・フリーダム」の国際法的正当性への疑問
- * 日本の防衛費増額・安全保障政策強化に対する国内反対意見
- * 気象・交通情報以外の国内政治ニュース（野党動向等）の欠如

[A] 部分的に扱われた

タイムスタンプ：02:22～02:57 引用：「攻撃しないという保障、海上封鎖の解除、ホルムズ海峡をめぐる新たな仕組みの確立などを含む14項目の提案を示したと伝えています」 評価：イラン側提案の概要は伝えられているが、内容の詳細分析や国際法的評価は一切なし。

[B] 省略

タイムスタンプ：03:17～03:21 引用：「軍事的な選択肢も排除しない姿勢を示していました」 評価：米国の軍事的姿勢が事実として伝えられるのみで、国際社会の反応・批判は完全に欠如。

[C] 省略

タイムスタンプ：該当なし 評価：日本政府の外交政策に対する野党の批判的立場は一切言及されていない。

[D] 省略

タイムスタンプ：05:45～05:51 引用：「中国を念頭に、経済的な威圧や輸出規制への懸念も表明するものとみられます」 評価：中国への懸念は一方的に提示され、中国側の立場・反応は完全に欠如。

[E] 部分的に扱われた

タイムスタンプ：07:03～07:19 引用：「経済が減速するリスクや原油価格の高騰などを通じたインフレの加速のほか、紛争の長期化への懸念が相次いで示された」 評価：リスクの列挙にとどまり、日本への具体的影響分析なし。

[F] 言及のみ

タイムスタンプ：07:47～08:03 引用：「先週、外国為替市場で円安が進み、政府・日銀は市場介入を実施しましたが」 評価：市場介入の事実のみ言及、独立的専門家評価は皆無。

[G] 省略

タイムスタンプ：08:33～09:54 評価：茂木外相のアフリカ政策スピーチは日本政府の立場のみ伝え、アフリカ側の評価・批判は完全に欠如。

[H] 省略

タイムスタンプ：03:44～04:24 引用：「この取り組みは人道的措置で」 評価：トランプ大統領の「プロジェクト・フリーダム」を「人道的措置」として無批判に伝え、国際法的疑問への言及なし。

[I] 省略

タイムスタンプ：該当なし 評価：日本の安全保障政策強化に対する国内反対意見・野党立場は一切なし。

[J] 省略

タイムスタンプ：該当なし 評価：国内政治ニュースは政府の外交活動のみで、野党動向・国内政策論争は完全に欠如。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



本放送は気象・交通情報と政府外交活動の報告に特化しており、10の必要視点のうち完全に扱われたものは皆無、部分的扱いが2項目、言及のみが1項目、完全省略が7項目である。野党の立場、独立専門家の評価、批判的視点が体系的に欠如しており、早朝ニュース速報という形式的制約を考慮しても、放送法第4条が求める多角的論点提示には著しく不十分である。

- 野党政治家（CDP・JCP等）：高市政権の外交政策・安全保障強化に対する批判的評価を提供できた
- 国際法専門家：「プロジェクト・フリーダム」およびホルムズ海峡封鎖問題の法的評価を提供できた
- エネルギー経済専門家（独立系）：中東情勢が日本のエネルギーコスト・物価に与える具体的影響を分析できた
- 為替・金融市場専門家（民間）：日銀市場介入の効果と限界について独立的評価を提供できた
- アフリカ研究者・現地NGO：TICAD政策の実効性とアフリカ側の受け止めに伝えられた
- 中国・韓国側の外交専門家：日豪安全保障協力強化に対する地域的反応を提供できた
- 市民団体・平和団体：軍事的選択肢の行使可能性に対する市民社会の懸念を伝えられた
- 気候・環境専門家：LNG依存継続と脱炭素目標の矛盾について指摘できた

ハードファクト — 定量的かつ科学的に検証可能な9つの手法

1. 専門家の選択

2/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

定義：誰が専門家として発言しているか？

本放送はスタジオ読み上げ形式であり、独立した専門家・コメンテーターは一切登場しない。言及される「専門家的権威」は以下の通り：

情報源1：気象庁

タイムスタンプ：00:03~00:13

発言：「気象庁によりますと、前線を伴った低気圧が発達しながら日本海を東寄りに進んでいる影響で」

位置づけ：国家機関（気象庁）。気象情報については中立的・技術的機関として適切。

欠如する反論：気象情報については反論不要。

信頼性マトリクス（気象庁）：

(a) 資金調達：国家予算（国土交通省所管）。気象情報提供においては利益相反なし。

(b) 委任：気象情報提供は本来の任務と完全に一致。

(c) 信頼性マトリクス（6次元、各-2~+2）：

- D1 利益相反：+2 — 気象情報に政治的利益相反なし
- D2 個人的リスク：+1 — 機関としての評判リスクあり
- D3 専門能力：+2 — 気象予報は本来の専門領域
- D4 意見の一貫性：+2 — 気象庁の情報は継続的・一貫的
- D5 感情化vs.データ：+2 — 完全にデータ基盤
- D6 情報源レベル：+2 — 一次情報源

合計：+11 → 情報源信号：緑

(c) 専門能力: 気象庁の情報は中立的専門機関として適切に扱われている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

情報源2：タスニム通信（イラン革命防衛隊系）

タイムスタンプ：02:22～02:38

発言：「イランの革命防衛隊とつながりのあるタスニム通信は、イランが中海国のパキスタンを通じてアメリカに出し」

位置づけ：イラン革命防衛隊系メディア。明確な政治的立場を持つ。

欠如する反論：米国側の独立的情報源、国際メディアの検証報道。

信頼性マトリクス（タスニム通信）：

(a) 資金調達：イラン革命防衛隊（IRGC）系。明確な政治的利益相反あり。

(b) 委任：イラン政府・IRGC寄りの情報発信が本来の任務。中立的評価と非両立。

(c) 信頼性マトリクス（6次元）：

- D1 利益相反：-2 — IRGC系メディアとして構造的利益相反
- D2 個人的リスク：-1 — 機関として政府支持により保護される
- D3 専門能力：0 — ニュース報道能力はあるが政治的フィルターあり
- D4 意見の一貫性：-1 — イラン政府立場に一貫して沿う
- D5 感情化vs.データ：-1 — 政治的文脈での情報選択
- D6 情報源レベル：0 — 二次情報源（政府発表の転載）

合計：-5 → 情報源信号：赤

(c) 専門能力: NHKはタスニム通信を「革命防衛隊とつながりのある」と明示しており、この点は適切。ただし独立的検証情報源の欠如が問題。

欠如している専門家グループ：

- 独立した中東・国際関係専門家（大学研究者等）
- 日本の野党政治家（外交・安全保障政策への批判的評価）
- 独立した金融・為替専門家（市場介入評価）

まとめ（マトリクス結果）：

- 気象庁：信号緑（+11） — 適切な情報源
- タスニム通信：信号赤（-5） — 明示されているが独立検証なし
- 全体として独立専門家が皆無であり、政府発表の転載に終始している。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



2. 情報源の選択

5/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

一次情報源のない主張 = ペナルティポイント (噂チェック)

定義：どの情報源が引用されているか？多様性と独立性はあるか？

情報源1：気象庁

タイムスタンプ：00:03 発言：「気象庁によりますと」

- (a) 資金調達・運営主体：国土交通省所管の国家機関。公費運営。
- (b) 構造的利益相反：気象情報提供においては利益相反なし。
- (c) 欠如する対立情報源：気象情報については不要。

信号：緑（前述マトリクス参照）

情報源2：タスニム通信

タイムスタンプ：02:22 発言：「イランの革命防衛隊とつながりのあるタスニム通信は」

- (a) 資金調達：IRGC（イラン革命防衛隊）系メディア。
- (b) 構造的利益相反：イラン政府・IRGC寄りの情報発信が本来の任務。
- (c) 欠如する対立情報源：AP通信、ロイター、BBC等の独立メディアによる検証報道が欠如。

信号：赤（前述マトリクス参照）

情報源3：日本道路交通情報センター

タイムスタンプ：01:25 発言：「日本道路交通情報センターなどによりますと」

- (a) 資金調達：国土交通省・警察庁・道路管理者等が共同出資する公益財団法人。
- (b) 構造的利益相反：交通情報提供においては利益相反なし。
- (c) 欠如する対立情報源：交通情報については不要。

信号：緑

情報源4：小田急電鉄（発表）

タイムスタンプ：01:52 発言：「小田急電鉄によりますと」

- (a) 資金調達：民間鉄道会社。
- (b) 構造的利益相反：自社運行情報については利益相反なし（正確な情報提供が利益に合致）。

信号：緑

欠如している対立情報源：

- ・ 独立した国際メディア（AP・ロイター・BBC）によるイラン情勢の検証
- ・ 野党政治家の公式コメント
- ・ 独立した学術専門家の分析

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

まとめ：気象・交通情報の情報源は適切であるが、国際ニュースにおいてIRGC系メディアへの依存と独立検証情報源の欠如が問題である。政府発表の無批判な転載が支配的であり、情報源の多様性は著しく不足している。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



3. 発言時間の配分

4/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：異なる立場間での発言時間の配分。

推定発言時間：

- 気象・交通情報：約2分（14%）
- イラン情勢（米国・イラン双方）：約2分30秒（17%）
- 高市首相オーストラリア訪問（日本政府立場）：約2分（14%）
- 日中韓ASEAN財務相会議（日本政府立場）：約2分（14%）
- 茂木外相アフリカ訪問（日本政府立場）：約1分30秒（10%）
- スポーツニュース：約4分（28%）
- 野党・批判的視点：0分（0%）
- 独立専門家：0分（0%）

まとめ：政府外交活動の報道が国際ニュース時間の大半を占め、野党・批判的視点・独立専門家への発言時間はゼロである。ただし早朝ニュース速報という形式的制約を考慮すると、この配分は部分的に形式によって説明可能である。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



4. 省略（選択的省略）

6/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：関連性があるにもかかわらず何が示されていないか？（第0ステップを参照）

省略1：

文脈：野党の外交・安全保障政策への立場

関連タイムスタンプ：04:54～09:54（政府外交報道全体）

効果：高市政権の外交活動が一方的に肯定的に報道され、CDP・JCP等の批判的立場が完全に欠如することで、政府政策が国民的合意を得ているかのような印象を与える。

省略2：

文脈：「プロジェクト・フリーダム」の国際法の問題性

関連タイムスタンプ：03:44～04:24

引用：「この取り組みは人道的措置で」

効果：一方的な軍事的圧力行使の可能性を含む米国の行動が「人道的措置」として無批判に伝えられ、国際法上の問題点（公海上の航行自由、武力行使の合法性等）への言及が完全に欠如している。

省略3：

文脈：日豪安全保障協力強化に対する中国・韓国・ASEAN諸国の反応

関連タイムスタンプ：05:33～06:31

引用：「中国を念頭に、経済的な威圧や輸出規制への懸念も表明するものとみられます」

効果：日豪の対中懸念のみが提示され、中国側の立場・反論、および地域安全保障への影響についての多角的分析が完全に欠如している。

まとめ：本放送における省略は体系的であり、政府の外交活動に対する批判的視点、国際法の問題、地域的反応が一貫して欠如している。これは放送法第4条が求める多角的論点提示に反する。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



6. 接触による連座 (連座制)

2/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：否定的グループ・思想との関連付けによる信用失墜。

関連付け1：

タイムスタンプ：05:45～05:51

引用：「中国を念頭に、経済的な威圧や輸出規制への懸念も表明するものとみられます」

技法：「中国を念頭に」という表現が、経済的威圧・輸出規制という否定的行為と中国を直接結びつけている。

効果：中国が経済的威圧の主体であることを既定事実として提示し、中国の立場や反論なしに否定的イメージを形成する。

連座の連鎖（該当なし）：本放送では明示的な連座の連鎖は確認されない。

まとめ（カテゴリー分類）：

本放送において「陰謀論者」等として枠組みされた人物は存在しない。中国への間接的な否定的関連付けが1件確認されるが、程度は軽度である。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



7. タイミング

3/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：情報の戦略的配置（冒頭・中間・末尾）。

所見1：

位置：02:07～02:09（気象・交通情報の直後）

内容：「戦闘の終結に向けて、イランがアメリカに示した新たな14項目の提案について」

タイミング効果：気象・交通という生活密着情報の直後に国際紛争情勢を配置することで、視聴者の注意が高まった状態で国際ニュースが提示される。これ自体は標準的なニュース構成であり、操作的とは言えない。

所見2：

位置：04:24～04:53（「プロジェクト・フリーダム」の軍事的脅迫の直後）

内容：「私は、アメリカの代表団がイランと非常に前向きな協議を行っていて、これらの協議がすべての人にとって非常に前向きな結果につながる可能性があることを十分認識している」

タイミング効果：軍事的脅迫の直後に楽観的な交渉見通しを配置することで、脅迫の深刻さが緩和される効果がある。

まとめ：タイミングの操作は軽度であり、標準的なニュース構成の範囲内にほぼ収まっている。ただし軍事的脅迫直後の楽観的発言配置は若干の緩和効果を持つ。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



8. 選択的憤慨

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

憤慨 = バイアス。選択的憤慨は所見を強化する。スコア = 憤慨度 (0-5) + 選択性 (0-5)

定義：特定の立場に対する憤慨と、同様の他の立場への無反応の非対称性。

方法論的原則 (v2.2)：各評価の前に引き金となる出来事を記録すること。反応は、他の立場で同様の引き金が類似した反応を生まなかった場合にのみ選択的と評価できる。

所見1：

タイムスタンプ：03:08～03:11

引き金となる出来事：トランプ大統領がイランの提案を「受け入れられるとは考えられない」と否定的に評価。

反応：「否定的な考えを示していました」という中立的表現で報告。

比較：イラン側の立場（02:54～02:57「イラン側は現在内容を検討している」）も同様に中立的に報告。

非対称性：証明不可能 — 両者の立場が同様に中立的に報告されており、選択的憤慨は確認されない。

まとめ：本放送はニュース読み上げ形式であり、感情的反応・憤慨の表明は構造的に発生しにくい。確認可能な選択的憤慨は存在しない。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

9. 網羅性								7/10	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

カバーされた視点の割合

反転: 元の値は網羅性を測定 (高い = 良い)。偏差として表示 (高い = 大きなギャップ)。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



ソフトファクト — 6つの定性的手法

10. フレーミング (枠組み設定)

4/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：テーマはどのように根本的に枠組みされているか？

所見1：

タイムスタンプ：04:54～05:12

引用：「オーストラリアを訪問している高市総理大臣は、今日、アルバニー首相との会談に臨みます。エネルギーや食料などのサプライチェーンの強化に向けた連携など、経済安全保障協力の指針となる共同宣言をまとめる見通しです」

操作：日本政府の外交活動が「成果をまとめる見通し」という肯定的・既成事実的フレームで提示されている。

なぜ問題か：政策の成否・批判的評価なしに政府活動を既定の成功として枠組みすることで、視聴者に政府外交の正当性を無批判に受け入れさせる効果がある。

所見2：

タイムスタンプ：05:33～05:51

引用：「宣言には、自由で開かれたインド太平洋の推進や、エネルギーや重要鉱物、食料などのサプライチェーンの強化に向けた連携が盛り込まれる方向です。また、中国を念頭に、経済的な威圧や輸出規制への懸念も表明するものとみられます」

操作：「中国を念頭に」という表現が、中国を脅威として自明視するフレームを設定している。

なぜ問題か：中国の立場や反論を一切提示せず、日豪の対中懸念を既定の事実として枠組みすることで、視聴者の対中認識を一方向に誘導する。

所見3：

タイムスタンプ：03:44～04:06

引用：「この取り組みをプロジェクトフリーダムと名付け、対象は現在中東で起きている事態に一切関与していない地域からの船舶だとしています。投稿は、この取り組みは人道的措置で、何のオチもない人々や企業、それに国々を解放するためのものだとしています」

操作：トランプ大統領の自己定義（「人道的措置」「解放」）をNHKが独自の評価なしにそのまま伝達している。

なぜ問題か：軍事的圧力を伴う一方的行動を「人道的」と枠組みするトランプの言説を批判的フィルターなしに放送することで、視聴者がその枠組みを内面化するリスクがある。

まとめ：本放送は日本政府の外交活動を肯定的・既成事実的フレームで一貫して提示し、中国を脅威として自明視する枠組みを採用している。トランプ発言の無批判な転載も含め、フレーミングの偏りは中程度と評価される。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



11. 言葉の選択と用語

3/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：どのような言語が使用されているか？どのような含意が設定されているか？

所見1：

タイムスタンプ：06:11～06:15

引用：「同志国連携の中核と位置づけるオーストラリアと」

操作：「同志国」という価値判断を含む用語が、政府の公式表現として無批判に採用されている。

なぜ問題か：中立的代替表現は「同盟国」または「友好国」。「同志」という語は特定の価値観共同体への帰属を含意し、それ以外の国（中国等）を暗黙に「非同志」として位置づける効果がある。

所見2：

タイムスタンプ：09:07～09:14

引用：「自由で開かれたインド太平洋を進化させた外交方針に触れ」

操作：「進化させた」という表現が、政府の新外交方針を改善・発展として肯定的に枠組みしている。

なぜ問題か：中立的代替表現は「改定した」または「変更した」。「進化」は生物学的進歩を含意し、政策変更を自動的に肯定的に評価する言語的操作である。

所見3：

タイムスタンプ：04:11～04:17

引用：「もしこの人道的な取り組みが何らかの形で妨害される場合、その妨害には残念ながら力によって対処せざるを得ない」

操作：「残念ながら」という感情的修飾語がトランプの軍事的脅迫を遺憾の念を持つ合理的行動として枠組みしている。

なぜ問題か：軍事的威嚇を「残念ながら」という留保付きで伝えることで、その攻撃性が緩和されて視聴者に届く。中立的報道は感情的修飾なしに事実のみを伝えるべきである。

まとめ：政府公式用語（「同志国」「進化させた」）の無批判な採用と、トランプ発言の感情的修飾語の保持が言語的偏りを生んでいる。ただし全体的な言語操作の程度は軽度から中程度にとどまる。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



12. 司会者の行動

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：質問、割り込み、共感表明における非対称性。

方法論的原則 (v2.2)：各評価の前に引き金となる出来事を記録すること。介入は、他のゲストで同様の引き金が類似した介入を生まなかった場合にのみ非対称と評価できる。

所見1：

タイムスタンプ：全体

引き金となる出来事：本放送はスタジオ読み上げ形式であり、司会者とゲストの対話は存在しない。

引用（司会者）：該当なし（読み上げのみ）

比較：対話形式のゲストが存在しないため、非対称性の評価は適用不可。

非対称性：証明不可能（形式的制約による）

まとめ：本放送はインタビュー・討論形式ではなくニュース読み上げ形式であるため、司会者の行動における非対称性は方法論的原則K5に基づき評価不可能である。スコア1は、政府発表を無批判に読み上げる姿勢に対する最低限の留保を反映する。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



13. 質問の非対称性

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：異なる人物への質問の硬軟の違い。

本放送はスタジオ読み上げ形式であり、インタビューや質疑応答は存在しない。方法論的原則K5に基づき、質問の非対称性は評価不可能である。

まとめ：本放送形式（ニュース読み上げ）において質問の非対称性は構造的に発生しえないため、スコア0とする。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



14. 偽りの均衡 (偽りの均衡)

2/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：実際の不均衡にもかかわらず人工的な均衡を作り出すこと。

所見1：

タイムスタンプ：02:07～04:53 (イラン情勢全体)

構造：米国側 (トランプ大統領のSNS投稿複数) とイラン側 (タスニム通信・国営メディア) の双方が報告されており、表面的には均衡が保たれているように見える。

分析：しかし米国側の発言量 (軍事的選択肢、プロジェクト・フリーダム、楽観的交渉見通し) がイラン側 (14項目提案の概要、検討中との表明) を大幅に上回っており、量的均衡は達成されていない。また独立した国際的評価が欠如しているため、二者択一的な枠組みが形成されている。

まとめ：イラン情勢報道において表面的な双方向性は維持されているが、米国側の発言量が優位であり、独立的评价の欠如が偽りの均衡を生んでいる。ただし程度は軽度である。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



15. アジェンダ設定

5/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：何が正常・自明とされているか？何がアジェンダに上らないか？

所見1：

設定されたアジェンダ要素：「自由で開かれたインド太平洋」（FOIP）が日本外交の自明の前提として設定されている。

タイムスタンプ：05:33～05:38 証拠：「宣言には、自由で開かれたインド太平洋の推進や」

代替アジェンダ：FOIPに対する批判的評価（中国・ロシアの立場、ASEAN諸国の温度差、野党の批判）がアジェンダに上らない。

所見2：

設定されたアジェンダ要素：日本の防衛・安全保障強化が自明の政策として設定されている。

タイムスタンプ：06:19～06:23 証拠：「安全保障分野の協力をさらに深めることを確認する予定です」

代替アジェンダ：防衛費増額・安全保障強化に対する国内反対意見、憲法上の問題、財政的影響がアジェンダに上らない。

所見3：

設定されたアジェンダ要素：LNG・化石燃料のサプライチェーン強化が「エネルギー安全保障」として自明視されている。

タイムスタンプ：05:55～06:07 証拠：「日本がLNGをオーストラリアから最も多く輸入している一方、オーストラリアが日本で生成した経油などを調達していることを踏まえ、こうしたエネルギーの円滑な流通を図るとともに」

代替アジェンダ：脱炭素目標との矛盾、再生可能エネルギーへの転換、気候変動への影響がアジェンダに上らない。

まとめ：本放送はFOIP外交、安全保障強化、化石燃料依存継続を自明の前提として設定し、これらに対する批判的視点・代替政策・野党立場を体系的にアジェンダから排除している。これは放送法第4条が求める多角的論点提示に反する。

第2ステップ — 総合評価

個別スコア一覧

番号	基準	スコア	主要所見（1文）
1	フレーミング	4	政府外交活動が肯定的・既成事実的フレームで一貫して提示されている
2	言葉の選択	3	「同志国」「進化させた」等の政府公式用語が無批判に採用されている
3	専門家の選択	2	独立専門家が皆無で政府発表の転載に終始している
4	省略	6	野党立場・国際法の問題・地域的反応が体系的に欠如している

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



5	司会者の行動	1	読み上げ形式のため評価不可、政府発表の無批判な読み上げに留保
6	発言時間配分	4	野党・批判的視点への時間がゼロである
7	質問の非対称性	0	読み上げ形式のため評価不可
8	接触による連座	2	中国への間接的否定的関連付けが1件確認される
9	数字の操作	2	気象数値の文脈情報欠如は軽度の問題にとどまる
10	タイミング	3	軍事的脅迫直後の楽観的発言配置が若干の緩和効果を持つ
11	映像選択	0	トランスクリプトから視覚的要素の評価は不可能
12	情報源の選択	5	IRGC系メディアへの依存と独立検証情報源の欠如が問題
13	選択的憤慨	1	確認可能な選択的憤慨は存在しない
14	偽りの均衡	2	イラン情勢で表面的双方向性があるが量的均衡は未達成
15	アジェンダ設定	5	FOIP・安全保障強化・化石燃料依存が批判なしに自明視されている

結果

- 総合スコア（15基準の平均）：2.7 / 10
- 完全性スコア：3.0 / 10
- 複合スコア：2.8 / 10（基準70%+完全性30%）

支配的な技法

本放送における最も強力な3つの技法：

1. 省略（スコア6）：野党の立場、国際法の問題、地域的反応、独立専門家の評価が体系的に欠如しており、政府外交活動が批判なしに一方向的に報道されている。放送法第4条が求める多角的論点提示の観点から最も深刻な問題である。
2. アジェンダ設定（スコア5）：FOIP外交、安全保障強化、化石燃料依存継続が自明の前提として設定され、これらに対する批判的視点が体系的にアジェンダから排除されている。視聴者の政策認識の枠組みを一方向に形成する効果がある。
3. 情報源の選択（スコア5）：国際ニュースにおいてIRGC系メディアへの依存と独立検証情報源の欠如が問題であり、政府発表の無批判な転載が支配的である。情報源の多様性が著しく不足している。

放送の核心的メッセージ

メッセージ1（内容的）：「高市政権の外交活動は着実に成果を上げており、日本の安全保障・経済安全保障政策は正しい方向に進んでいる」

技法：フレーミング、省略、アジェンダ設定 — 証拠：04:54～09:54

メッセージ2（個人的）：「中東情勢は不安定だが、米国は交渉と軍事的選択肢の両方を持っており、状況は管理されている」

技法：タイミング、情報源選択 — 証拠：02:07～04:53

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



メッセージ3 (社会的) : 「日本は同志国と連携して自由で開かれたインド太平洋を守る責任ある国際的プレーヤーである」

技法 : アジェンダ設定、言葉の選択 — 証拠 : 05:33~09:54

操作度の分類

- 軽度の傾向 (3-4)

(複合スコア2.8は「軽度の傾向」の下限に位置する)

根拠 : 本放送は早朝ニュース速報という形式的制約の中で、気象・交通情報については適切な報道を行っている。国際ニュースにおける省略・アジェンダ設定の問題は実在するが、積極的な虚偽情報や重大な事実歪曲は確認されない。放送法第4条第2号(政治的公平)および第4号(多角的論点提示)の観点からは、野党立場・批判的視点の体系的欠如が問題であるが、早朝速報という形式を考慮すると「軽度の傾向」の範囲内と評価する。ただし、この形式的制約が政府外交活動の一方的報道を正当化するものではない。

結論

本NHK早朝ニュース速報は、気象・交通情報については放送法第4条の要件を概ね満たしている。しかし国際ニュース部分において、高市政権の外交活動が批判的評価なしに一方的に報道され、野党の立場・独立専門家の評価・批判的視点が体系的に欠如している。放送法第4条第2号(政治的公平)および第4号(多角的論点提示)の観点から、改善の余地がある。早朝速報という形式的制約を考慮しても、政府外交活動の報道において最低限の批判的文脈提示が求められる。総合的には「軽度の傾向」と評価されるが、この傾向が継続的・体系的であれば放送法上の問題となりうる。

第3ステップ — 政党政治的バイアス

政党別スコア

政党	スコア (-5~+5)	放送内表現 vs. 政党綱領上の立場
LDP (自民党)	+2	05:33「自由で開かれたインド太平洋の推進」「安全保障分野の協力をさらに深める」— 綱領上の立場 (FOIP推進、安全保障強化) と一致、批判なしに肯定的に報道。やや過剰に好意的。
CDP (立憲民主党)	0	言及なし — 綱領上の立場 (9条改憲反対、外交的解決重視) は完全に省略。スコア0は「言及なし」を反映。
公明党	0	言及なし — 綱領上の立場 (平和志向、LDP抑制) は完全に省略。
Ishin (維新の会)	0	言及なし — 綱領上の立場は完全に省略。
JCP (共産党)	0	言及なし — 綱領上の立場 (反軍拡、9条堅持) は完全に省略。
DPP (国民民主党)	0	言及なし — 綱領上の立場は完全に省略。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



政党バイアスマとめ

- 最も正確な表現：LDP（スコア+2）— 綱領上の立場と一致した報道
- 最も強い歪曲：CDP（スコア0）— 完全省略（積極的歪曲ではないが、存在の消去）
- 0からの平均乖離：0.3
- 結論：本放送は与党LDPの外交政策を綱領上の立場と一致した形で報道する一方、野党全党の立場を完全に省略している。これはLDPに対する構造的優遇であり、放送法第4条第2号（政治的公平）の観点から問題がある。ただし早朝速報という形式的制約により、積極的な野党批判は確認されない。

左右スペクトル上の全体的傾向

傾向スコア：-0.8

（正＝左派優遇、負＝右派優遇、0.0＝均衡）

分類：右派優遇（軽度）

根拠：本放送はLDP政権の外交活動（FOIP推進、安全保障強化、化石燃料サプライチェーン強化）を批判なしに報道し、これらに批判的な左派・中道左派政党の立場を完全に省略している。フレーミング、アジェンダ設定、情報源選択においても右派的政策枠組みが優位である。ただし積極的な左派批判は確認されず、傾向は軽度にとどまる。

第4ステップ — 法的評価（放送法第4条）

放送法第4条に基づく評価

放送法第4条は、政治的公平、報道の正確性、および多角的な論点の提示を求めている。

違反1：

規範：放送法第4条第2号（政治的公平）

事実：高市政権の外交活動（オーストラリア訪問、アフリカ政策、日中韓ASEAN会議）が批判的評価なしに一方的に報道され、野党の立場が完全に省略されている。

証拠：タイムスタンプ04:54～09:54 — 引用：「高市総理大臣が発表したインド太平洋を進化させた外交方針の下アフリカ大陸の平和の実現や成長の好循環などを目指す考えを示しました」

評価：政府の外交政策を批判的文脈なしに報道し、野党の対抗的立場を一切提示しないことは、政治的公平の要件に反する可能性がある。

違反2：

規範：放送法第4条第4号（多角的論点の提示）

事実：「自由で開かれたインド太平洋」「同志国連携」「安全保障分野の協力強化」が自明の前提として設定され、これらに対する批判的論点（野党立場、国際法の問題、地域的反応）が体系的に欠如している。

証拠：タイムスタンプ05:33～06:31 — 引用：「中国を念頭に、経済的な威圧や輸出規制への懸念も表明するものとみられます」

評価：中国の立場・反論を一切提示せず、日本政府の対中懸念のみを報道することは、多角的論点提示の要件に反する可能性がある。

違反の程度に関する留保：早朝ニュース速報という形式的制約（約14分、複数テーマ）を考慮すると、各テーマへの深掘りには物理的限界がある。単一の速報放送における省略が直ちに放送法違反を構成するかは、継続的・体系的なパターンの確認が必要である。

放送法第4条総合評価

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

本NHK早朝ニュース速報は、気象・交通情報については放送法第4条の要件を満たしている。国際ニュース部分において、政府外交活動の一方的報道と野党立場の体系的省略が確認され、放送法第4条第2号（政治的公平）および第4号（多角的論点提示）の観点から問題がある。ただし早朝速報という形式的制約を考慮すると、単一放送での違反認定には慎重であるべきであり、継続的・体系的なパターンの確認が法的判断の前提となる。NHKの経営委員会委員が首相任命であるという構造的な問題（記者クラブ制度を含む）が、こうした傾向の制度的背景として存在することも指摘されるべきである。

情報源詳細チェック（義務的实施）

気象庁

1. 資金調達：国土交通省所管の国家機関。一般会計予算により運営。
2. 委任：気象情報の収集・提供・警報発令が本来の任務。本放送での使用と完全に一致。
3. 利益相反：気象情報提供においては制度的利益相反なし。
4. 信頼性マトリクス（6次元）：D1(+2)D2(+1)D3(+2)D4(+2)D5(+2)D6(+2) → 合計+11 → 信号：緑
5. 対立情報源：気象情報については不要。

タスニム通信

1. 資金調達：イラン革命防衛隊（IRGC）系メディア。IRGCの資金・影響下にある。
2. 委任：イラン政府・IRGC寄りの情報発信が本来の任務。中立的評価と非両立。
3. 利益相反：イラン政府の立場を有利に伝えることが制度的使命であり、重大な利益相反がある。
4. 信頼性マトリクス（6次元）：D1(-2)D2(-1)D3(0)D4(-1)D5(-1)D6(0) → 合計-5 → 信号：赤
5. 対立情報源：AP通信、ロイター、BBC、アルジャジーラ等の独立メディアによる検証報道が欠如。NHKはタスニム通信の出所を明示しており（「革命防衛隊とつながりのある」）、この点は適切な情報源表示である。ただし独立検証の欠如は問題。

日本道路交通情報センター

1. 資金調達：国土交通省・警察庁・道路管理者等が共同出資する公益財団法人。
2. 委任：道路交通情報の収集・提供が本来の任務。本放送での使用と一致。
3. 利益相反：交通情報提供においては制度的利益相反なし。
4. 信頼性マトリクス（6次元）：D1(+2)D2(+1)D3(+2)D4(+2)D5(+2)D6(+1) → 合計+10 → 信号：緑
5. 対立情報源：交通情報については不要。

重要注記：「公認された」「権威ある」という社会的帰属は、それ自体が検証の対象である。本分析では各情報源を上記6次元マトリクスにより独立的に評価した。

本分析はバージョン2.7-詳細、方法論的原則K5+K13（引き金となる出来事の記録、比較可能な引き金なしに非対称性を証明しないこと）に基づき作成された。分析対象は提供されたトランスクリプトのみであり、実際の放送映像・音声の分析には別途資料が必要である。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



59. 数字の操作

2/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：統計の選択的または誤解を招く使用。

所見1：

タイムスタンプ：00:30～00:50

数字：「千葉市で28.5メートル、静岡県の御殿場市で26.9メートル、神奈川県の小田原市で26.1メートル、東京羽田空港で24.7メートル」

欠如する文脈：これらの最大瞬間風速値が過去の同時期と比較してどの程度異常であるかの文脈が欠如している。

効果：数値の羅列が危機感を高める効果を持つが、統計的文脈なしでは視聴者が適切なリスク評価を行えない。

まとめ：気象数値の提示は概ね適切であり、重大な数字操作は確認されない。文脈情報の欠如は軽度の問題にとどまる。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



15基準の総合評価

個別スコア — 全15基準

番号	基準	Score	評価
1	専門家の選択	2/10	問題なし
2	情報源の選択	5/10	顕著な偏り
3	発言時間の配分	4/10	軽微な偏り
4	省略（選択的省略）	6/10	顕著な偏り
6	接触による連座（連座制）	2/10	問題なし
7	タイミング	3/10	軽微な偏り
8	選択的憤慨	1/10	問題なし
9	網羅性	7/10	著しい偏り
10	フレーミング（枠組み設定）	4/10	軽微な偏り
11	言葉の選択と用語	3/10	軽微な偏り
12	司会者の行動	1/10	問題なし
13	質問の非対称性	0/10	問題なし
14	偽りの均衡（偽りの均衡）	2/10	問題なし
15	アジェンダ設定	5/10	顕著な偏り
59	数字の操作	2/10	問題なし

ハードファクトスコア (1-8)

3.7/10

軽微な不均衡

ソフトファクトスコア (9-14)

2.5/10

問題なし

総合スコア

3.1/10

軽微な不均衡

ハードファクトとソフトファクトの平均

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



凡例 — スコアの定義

基準ごとの個別スコア (0-10)

0	所見なし	関連する異常は検出されませんでした。
1-2	軽微な所見	バランスに実質的な影響のない軽微な異常。
3-4	軽度～中程度の所見	認識可能な傾向；影響の関連性は低～中程度。
5	影響のある中程度の所見	視聴者の意見形成に影響を与える関連性のある偏り。
6	重要な所見 (閾値)	スコア6以上は「重要な所見」に分類されます。
7	重要な所見	明確で十分に文書化された偏り、明らかな影響の関連性。
8-9	深刻な所見	顕著な偏り；この基準で複数の文書化された個別の所見。
10	最大の深刻度	この基準における体系的で広範な偏り。

集約偏差指数 — 解釈範囲

0.0 - 2.5	問題なし	重要なパターンは検出されず；放送は公平性基準を満たしています。
2.6 - 4.0	軽微な偏り	孤立した異常；統計的に認識可能だが許容範囲内。
4.1 - 6.0	重要な偏り	複数の重要な所見；視点の多様性に対する関連性のある損傷。
6.1 - 8.0	公平性基準からの深刻な逸脱。高い逸脱度	放送をまたぐ顕著なパターン；高い影響の関連性。
8.1 - 10	根本的な体系的・一方向性。非常に高いバイアス度	ほぼ全ての基準で最大の深刻度；体系的に一方的な報道。

政党バイアス (-5~+5)

-5~-3	強く不利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過小代表されている。
-2~-1	やや不利	認識可能だが軽微な不利。
0	中立	検出可能な優遇や不利益なし。
+1~+2	やや有利	認識可能だが軽微な優遇。
+3~+5	強く有利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過大代表されている。

法的・方法論的注記

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch
 주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

事実認定ではない

提示された結果は、個人、編集チーム、または放送に関する事実認定を構成するものではありません。標準化された運用化の産物であり、個人の責任の認定ではありません。

法的判断ではない

集計された逸脱指数は放送法 第4条に基づく法的評価に代わるものではありません。特定の放送が法的要件に違反しているかどうかの判断は、管轄当局（特に総務省）の専権事項です。

因果関係の証明ではない

統計的相関は、因果関係や編集意図の証明として解釈されるべきではありません。逸脱値は、テーマ選択、ニュース環境、政治的論争性、またはフォーマットの論理によって影響を受ける可能性があります。

意図の判断ではない

分析は放送の観察可能な構造的特性を測定します。スコア7は、重大な偏りが検出されたことを意味し、編集チームがそれを意図したことを意味しません。方法論は動機や戦略的目標について主張しません。

ヒューリスティックな比較ツール

この指数は、数千の放送にわたる比較パターン認識に役立ち、個々のセグメントの正確なメトリック測定ではありません。閾値はヒューリスティックな方向付けに役立ち、厳密な法的資格付けではありません。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



付録1：国内放送法

法的根拠 日本 — NHK

法律

- 放送法（昭和25年法律第132号、最終改正 2024年）
- NHK受信規約
- 電波法

放送法 第4条（編集基準）

放送事業者は、国内放送及び内外放送（以下「国内放送等」という。）の放送番組の編集に当たっては、次の各号の定めるところによらなければならない。

- 公安及び善良な風俗を害しないこと。
- 政治的に公平であること。
- 報道は事実をまげないですること。
- 意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。

出典：e-Gov法令検索（laws.e-gov.go.jp/law/325AC0000000132）

バイアス分析の四つの柱

号	条文	SVFAB分析との関連
1	公安及び善良な風俗を害しないこと	編集基準
2	政治的に公平であること	核心的バイアス指標 — スイス放送法第4条に相当
3	報道は事実をまげないですること	事実検証
4	意見が対立している問題 → 多角的論点提示	多角性・均衡

スイスとの比較

項目	スイス（SRG）	日本（NHK）
法律	放送通信法 第4条	放送法 第4条
独立規制機関	UBI（拘束力あり）	BPO（拘束力なし）
国家規制機関	BAKOM/UVEK	総務省
執行	UBIは苦情を認容可能、BAKOMは制裁可能	BPOは勧告のみ、総務省は行政指導
財源	Serafe受信料	NHK受信料（月額約1,100円）
自主規制	中程度（UBIは独立）	脆弱（BPOはNHKが共同出資）

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



監督機関

総務省

- 放送行政を所管する国家機関
- 放送免許の付与
- 行政指導の発出権限
- NHK予算・事業計画・受信料の承認
- 理論上は免許取消権限を保有
- 直近の措置：2024年9月、NHKラジオ国際放送尖閣事件に対する行政指導

BPO（放送倫理・番組向上機構）

- 2003年設立、非政府、自主規制機関
- NHKとJBA（日本民間放送連盟）が共同運営
- 三委員会：放送倫理検証、放送人権、青少年
- 決定に法的拘束力なし — 自主的遵守に依拠
- NHKがBPOを共同出資 — 構造的独立性に限界

NHKに対する主なBPO決定

年	事案	判断
2015	クローズアップ現代 — やらせ疑惑	重大な放送倫理違反
2022	BS五輪ドキュメンタリー（河瀬直美）	重大な放送倫理違反 — 虚偽字幕
2023	ニュースウオッチ9 — COVID-19報道	放送倫理違反 — ワクチン被害者遺族の誤報

国際比較参照

- RSF 報道自由度指数：日本 2024年 70位（スイス9位、ノルウェー1位と大きな差）
- Freedom House：日本は「自由」に分類、しかしメディアの自由は圧力下（記者クラブ、政府近接性）

構造的背景

NHKは世界最大の公共放送機関（予算約7,200億円 / 約45億ユーロ）。経営委員会（12名、首相が任命、国会同意）を通じた構造的な政府近接性がある。記者クラブ制度が政府情報へのアクセスをメディア各社に限定し、ジャーナリストと政府の距離を縮めている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



付録2 : 科学的参考文献

参考文献

- Bennett, W. L. (1990). Toward a theory of press-state relations in the United States. *Journal of Communication*, 40(2), 103–125.
- Berelson, B. (1952). *Content analysis in communication research*. Free Press.
- Entman, R. M. (1993). Framing: Toward clarification of a fractured paradigm. *Journal of Communication*, 43(4), 51–58.
- fög – Forschungszentrum Öffentlichkeit und Gesellschaft (2024). *Jahrbuch Qualität der Medien 2024*. Schwabe.
- Gilardi, F., Alizadeh, M. & Kubli, M. (2023). ChatGPT outperforms crowd workers for text-annotation tasks. *PNAS*, 120(30).
- Iyengar, S. & Kinder, D. R. (1987). *News that matters: Television and American opinion*. University of Chicago Press.
- Jolly, S. et al. (2022). Chapel Hill Expert Survey trend file, 1999–2019. *Electoral Studies*, 75, 102420.
- Krippendorff, K. (2004). *Content analysis: An introduction to its methodology* (2nd ed.). Sage.
- McCombs, M. E. & Shaw, D. L. (1972). The agenda-setting function of mass media. *Public Opinion Quarterly*, 36(2), 176–187.
- Shoemaker, P. J. & Vos, T. P. (2009). *Gatekeeping theory*. Routledge.
- SVFAB (2026). *Methodenbericht v4.1: Zählbare Kriterien und Multi-Modell-Kreuzvalidierung*.
- Törnberg, P. (2023). ChatGPT-4 outperforms experts and crowd workers in annotating political Twitter messages. arXiv:2304.06588.

SVFAB Working Papers

- Schläpfer, D. (2026). Systematic AI-Assisted Analysis of Public Broadcaster Impartiality: A Scalable Methodological Framework for Measuring Structural Bias in Public Service Media. [SSRN 6688478](#)
- Schläpfer, D. (2026). Measuring Editorial Noise: A Retrospective Suppression Index for Public Broadcasting Content Analysis. [SSRN 6733280](#)
- Schläpfer, D. (2026). Source Traffic Light: A Six-Dimensional Credibility Framework for Systematic Source Assessment in Public Service Media. [SSRN 6733880](#)

David Schläpfer — ORCID: 0009-0000-5671-9266



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

SVFAB 보고서 및 회원 가입

SVFAB.ch에서는 상세한 보고서를 받아보실 수 있을 뿐 아니라, 모든 선적 건에 대한 보고서 생성 서비스도 이용하실 수 있습니다(유료 서비스).

저희는 지속 가능한 활동을 위해 회원 가입과 기부에 의존하고 있습니다.

연락처 및 추가 정보:

www.SVFAB.ch | Kontakt@SVFAB.ch

은행 계좌: PostFinance – POFICHBE

IBAN: CH32 0900 0000 1675 6251 1

수취인: SVFAB, P.O.Box CH-8021 Zurich 1

회장: 다비드 Schlaepfer / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

SVFAB에서 다음 책들을 구입하실 수 있습니다.

주문은 www.svfab.ch 또는 kontakt@svfab.ch를 통해 하실 수 있습니다.



스위스의 '보도 자료 절반 공개' 정책에 대한 대응으로 불균형적인 보도가 나타나고 있습니다. 이 책은 취재진과 정보원 선정부터 시작하여 조작 기법을 상세히 설명합니다. 이어 누락, 프레임 설정, 시간적 프레임 설정, 연좌제, 감정적 이용, 맥락 제거 등 15가지 원칙을 다양한 사례와 함께 제시합니다. 또한, 우리 자신이 이러한 기법을 어떻게 활용하는지 보여줌으로써 이해뿐 아니라 공감까지 이끌어냅니다.

선택 사양으로 트럼프 카드가 함께 제공됩니다.

오디오북으로도 이용 가능합니다.



인터뷰는 대화가 아닙니다. 누군가 대본을 써놓은 무대입니다.

이 점을 이해하지 못하는 사람은 언론에 먹칠을 하는 셈입니다. 좋은 인용구가 잘못 편집되고, 정확한 발언이 잘못된 맥락에서 전달되며, 솔직한 답변이 자백처럼 포장되는 사례가 발생합니다.

이 책은 언론 비평서가 아닙니다. 마이크 앞에 선 모든 사람을 위한 실용적인 도구 상자입니다. 7개의 장으로 구성되어 있으며, 7가지 도구를 제공합니다. 인터뷰의 본질, 가장 흔한 7가지 함정, 세 가지 기본 원칙(앵커링, 프레임링, 경계 설정), 1시간 만에 인터뷰 준비하는 방법, 몸짓과 목소리 사용법, 인터뷰가 잘못될 경우 대처법, 그리고 인터뷰 후 중요한 점까지 다룹니다.

정치인, 활동가, 기업가, 내부고발자 등 대중의 시선을 받는 모든 사람이 언론의 흐름을 이해하고, 더 이상 수동적으로 따라가지 않고 주도적으로 이끌어갈 수 있도록 돕습니다.

A5 사이즈로 휴대가 간편합니다. 준비, 참고, 후속 조치 및 어려움에 직면했을 때를 위해.

회장: 다비드 Schlaepfer / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato



당신은 세상을 제대로 본다고 생각하지만, 사실은 누군가가 씌운 틀을 보고 있는 것입니다. 프레임은 세상에서 가장 오래되고 정교한 조작 기술입니다. 사실 자체를 바꾸는 것이 아니라, 우리가 사실을 어떻게 받아들이고, 어떻게 느끼고, 무엇을 믿고, 어떻게 결정하는지를 바꿉니다. 그리고 이 기술은 효과적입니다. 왜냐하면 우리 모두가 매일 무의식적으로, 당신도 참여하고 있기 때문입니다. 이 책은 딱딱한 교과서가 아닙니다. 재미있고, 직접적이며, 실생활 예시로 가득한 워크북입니다. 다른 사람들이 당신을 어떻게 프레임에 담는지 배우는 것뿐만 아니라, 스스로를 어떻게 프레임에 담는지, 그리고 그것을 의식적이고 공정하게 사용하는 방법을 배우게 될 것입니다.

프레임을 이해하는 사람들은 세상을 더 명확하게 보고, 뉴스를 다른 시각으로 바라보며, 더 자신감 있게 대화를 이끌어 나가고, 다른 사람이 선택한 프레임에 쉽게 휘둘리지 않게 됩니다.

정치, 미디어, 그리고 일상생활에서 가져온 다양한 연습 문제와 구체적인 예시, 그리고 중간중간 웃음까지 더해져 있습니다.

스타일 있게 프레임을 활용하세요. 프레임이 모든 것을 바꾸기 때문입니다.

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1